



三宅良雄*

光・高周波デバイス事業の展望

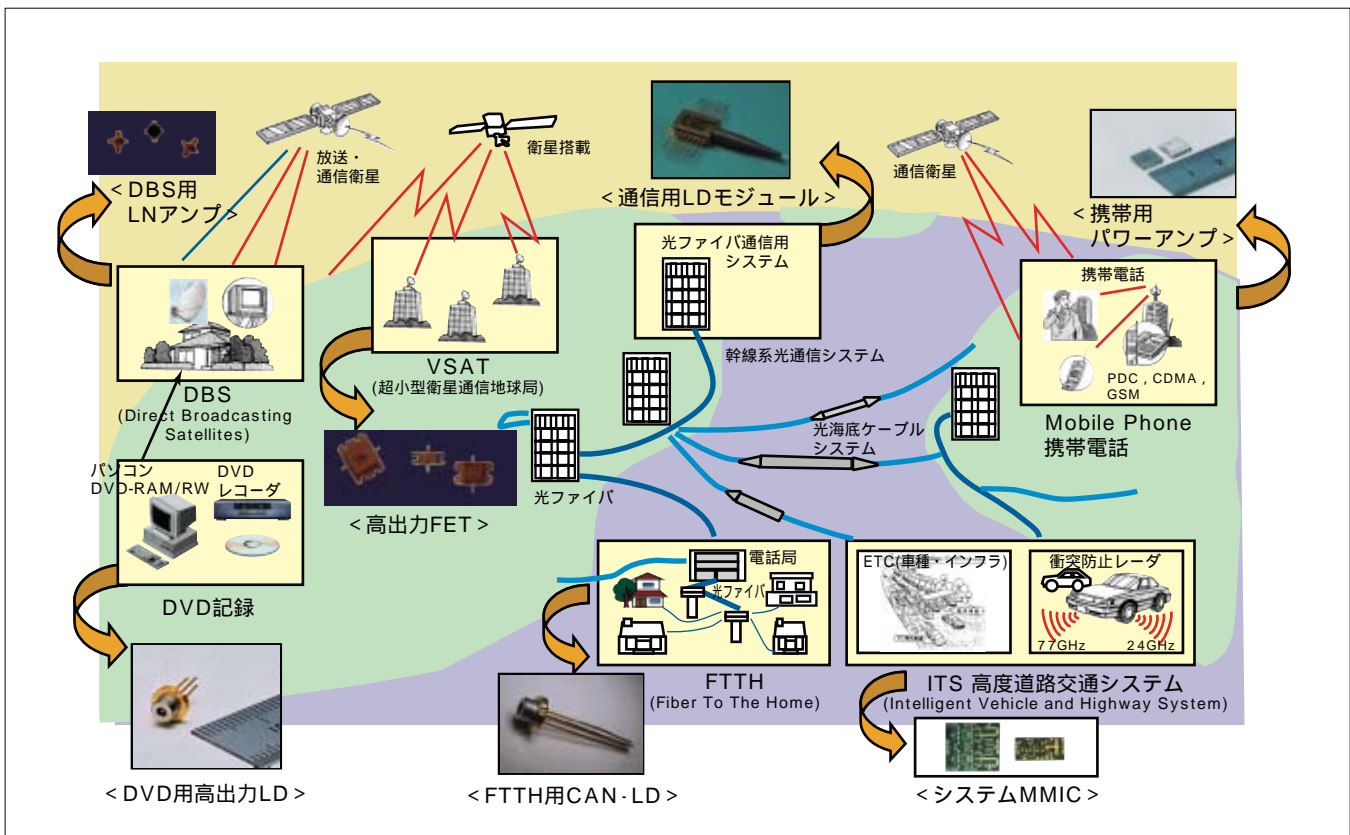
要 旨

生活の中での“情報交換”が手紙・電話による通信から“映像及び音声・音楽を含む電子情報”の通信へと高度化し、それが行われる時間・場所が“いつでも、どこでも”に広がっていき、現在、そこで使用される情報機器は、限りなく小さく、軽く、高性能になっていく。

高周波光デバイス事業は、正にそのような通信で使用される電波や光といった情報媒体のフロントエンド又はイン

タフェースに位置するデバイスを社会に送り出している。

光デバイスでは現在の半導体レーザ市場を牽引(けんいん)している記録型DVD装置用高出力レーザ及びFTTH (Fiber To The Home)用長波長レーザについて、また、高周波デバイスでは携帯電話に使われる電力増幅器と車載レーダなどに使われるマイクロ波/ミリ波帯MMICについて、技術・市場の動向と将来の展望について述べる。



ITシステムを支える三菱電機の高周波・光デバイス

無線通信及び光通信などのフロントエンド又はインタフェースに使われる各種高周波光デバイスの多岐にわたる具体的なアプリケーションをイメージ図で示している。